



PCK-MDG100

パソコン接続キット取扱説明書

もくじ

1 . 起動	
(1) MDレコーダーの準備	3
(2) MD Disc Masterの起動	3
2 . 画面表示	
(1) MD Disc Masterのメイン画面	4
(2) 画面表示	4
3 . 再生 / 録音	
(1) MDを聞く	7
(2) いろいろな再生モード	7
(3) 録音する	8
4 . 編集	
(1) 編集画面	9
(2) 編集	10
5 . ダビング	
(1) CD-ROMドライブからMDレコーダー	14
(2) CD-ROMドライブからハードディスク	16
(3) ハードディスクからMDレコーダー	18
6 . ラベル印刷	
(1) 印刷内容の設定	21
(2) 印刷イメージの確認	22
(3) ラベルを印刷する	23
7 . MDレコーダー	
(1) 通信ポートの設定	24
(2) MDレコーダーの設定	24
8 . オプション	
(1) トラック表示の設定	26
(2) ホットキーの設定	26
9 . MDライブラリ	
(1) MDライブラリ	28
(2) MDライブラリ画面の表示内容	28
(3) 印刷する	29
(4) データのエクスポート	31
(5) データの削除	32
(6) 検索と検索結果の印刷	32

本記載内容は性能改善のため予告なく変更する場合があります。

1. 起動

(1) MD レコーダーの準備 (MD レコーダー : MDG シリーズ)

1. パソコンのシリアルコネクタとMDレコーダーのPC SYNCHRO端子をPC接続ケーブル(付属品)で接続します。
2. MDレコーダーの電源を入れ、 [C (ストップ・キャンセル)] ボタンを押します。

パソコン上でMD Disc Masterが起動(次項参照)すると接続が正常な場合、MDレコーダーの表示部に[PC CONNECT]と表示されます。

パソコンと接続が確立されている間(MDレコーダーの表示部に[PC CONNECT]と表示中)はMDレコーダーの操作ボタンは機能しません。

(2) MD Disc Master の起動

1. パソコンの電源を立ち上げます。
2. [スタートボタン]をクリックして[スタート]メニューを開きます。
3. [プログラム] - [MD Disc Master]をクリックします。
または、デスクトップ上にある[MD Disc Master]アイコンをダブルクリックします。
4. MD Disc Masterが起動し、[MDレコーダーと接続しますか?]というメッセージ画面が表示されます。
接続する場合は、PC接続ケーブルを接続した通信ポートを選択して[はい]ボタンをクリックします。
接続しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。
5. MDレコーダーにMDが入っている場合は[MDライブラリに保存しますか?]というメッセージ画面が表示されます。
([MDライブラリについては28ページから説明しています。](#))
保存する場合は[はい]ボタンをクリックします。
保存しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。
6. すでにMDライブラリに登録されてあるディスクの場合は[MDライブラリ登録]画面が表示されます。

[はい]ボタンをクリックするとディスク情報がMDライブラリに登録されているデータに上書きされます。

[新規ID]ボタンをクリックすると新たなID番号がMDに書き込まれMDライブラリに登録されて、メイン画面が表示されます。

[いいえ]ボタンをクリックするとMDライブラリ登録を中止します。

注意! 上記操作を行ってもMDレコーダーとのPC接続がうまくいかない場合は、パソコンの通信ポートが有効になっているか、または他のアプリケーションと競合していないかを確認してください。
詳しくはお客様のパソコンのマニュアル、または通信ポートを使用するアプリケーションのマニュアルをお読みください。

2. 画面表示

(1) MD Disc Master のメイン画面

[ツールバー][拡張ツールバー][トラック情報バー][MD操作バー]では、マウスカースルを各ボタンに合わせるとボタンの名称を表示します。

メニューやボタンは、操作状況によってグレー色の表示になり使用できなくなります。



(2) 画面表示

1. メイン画面の各パーツの表示 / 非表示の切り替え

メニューバーの[表示]を選択すると、プルダウンメニューを表示します。

[ツールバー]、[拡張ツールバー]、[トラック情報バー]、[MD操作バー]、[ディスクネームバー]、[ステータスバー]は、クリックするたびに表示 / 非表示が切り替わります。

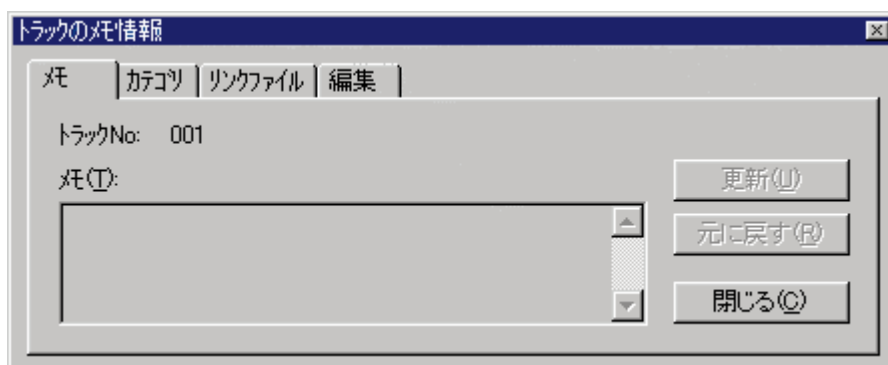
2. ディスクネーム、トラックネームの表示タイプの切り替え

メニューバーの[表示] - [ネーム表示タイプ]を選択すると、サブメニューが表示され、全角 / 半角 / 全角・半角を選択します。

(参考：メイン画面のリスト表示部でマウスの右ボタンを押しても、表示タイプの切り替えポップアップメニューを表示します。)

3. トラックのメモ情報の表示

メモ情報の表示させたいトラックを選択し、メニューバーの[表示] - [トラックのメモ情報]を選択するか、トラック詳細情報の ▶ をクリックすると、[トラックのメモ情報]画面を表示します。

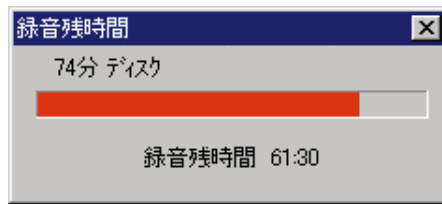


4. 録音残時間の表示

メニューバーの[表示] - [録音残時間]を選択しますと、[録音残時間]画面を表示します。表示内容は、録音または編集によって更新します。

表示する録音残時間（分：秒で表示）はステレオで録音した場合の時間です。

録音残時間の表示は目安時間を表示しています。



5. ディスク情報の表示

メニューバーの[表示] - [ディスク情報]を選択します。[ディスク情報]画面が表示されます。

録音残時間の表示は目安時間を表示しています。




「録音済み時間」は、トータル録音時間を分：秒で表示します

「録音残時間」は、ステレオで録音する場合の目安の録音残時間を分：秒で表示します。

「TOC情報」には、TOCが一杯になったとき、「TOC FULL」が表示されます。

6. ミニ操作パネルの表示

メニューバーの[ウィンドウ] - [ミニ操作パネル]を選択するか、[ツールバー]のをクリックします。ミニ操作パネルが表示されます。



ミニ操作パネル表示にすると、タスクバーにトレイアイコンを表示します。

ミニ操作パネルは、トラック情報とディスク名を表示する[トラックバー]と、MDを再生するために必要最小限の操作ボタンを盛り込んだ[MD操作バー]で構成しています。それぞれ右端の矢印ボタンをクリックすると、そのバーは非表示します（このボタンの操作から両方のバーを同時に非表示に設定することはできません）。また、ミニ操作パネルはタスクバーへドラッグすると、タスクバーの上に表示し、デスクトップの上端へドラッグすると、上端に表示します。

[トラックバー]には、再生中のトラックとタイム、ディスク名が表示されます。

ミニ操作パネルへの切り替えは以下のとき可能です。

1. ノンリピートのとき
2. 早聞きオフのとき

ミニ操作パネルへ切り替えるとホットキー操作が可能になります。

（ホットキーに関しては26ページ～27ページに説明しています。）

メイン画面上のMD操作バーとの違い

基本的にメイン画面のMD操作バーと同じですが、メイン画面のMD操作バーで右端にある[録音]ボタンが、ミニ操作パネルのMD操作バーでは[ポイント再生]ボタンになっています。再生時にポイント再生ができます。
ポイント再生：指定した部分の前後をくり返し再生すること。

ミニ操作パネルのショートカットメニュー


ミニ操作パネルの上でマウスを右クリックするかトレイアイコンを右クリックすると、ショートカットメニューが開きます。
ミニ操作パネルの表示形態を選択したりメイン画面に戻るには、このメニューから操作します。

- ・常に手前に表示常にすべての画面の最前面に表示します。
- ・自動的に隠すこれはタスクバーがこの設定モードにあると指定しても無効です。画面の下に隠し、マウスが画面の下端にくると表示します。
- ・横に並べて表示フローティング表示させているときにこの項目をチェックすると、トラックバーとMD操作バーは横に並べて表示します。
- ・縦に積んで表示トラックバーとMD操作バーを、上下に積んで表示します。フローティング表示しているときのみ有効です。
- ・トラックバートラックバーの表示 / 非表示を切り替えます。
- ・MD操作バーMD操作バーの表示 / 非表示を切り替えます。
- ・ミニ操作パネルを隠すミニ操作パネルを隠します。再度表示するにはタスクバーのトレイアイコンを右ボタンでクリックし、メニューから[ミニ操作パネルを表示]を選択します。
- ・メインに戻るミニ操作パネル表示から、メイン画面表示に切り替えます。

3. 再生 / 録音


(1) MD を聞く

1. MDを再生する


聞きたいトラックを選択して、メニューバーから[操作] - [再生]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。

トラックが選択されていない場合は1トラック目から再生します。

2. 再生を一時停止する


メニューバーから[操作] - [一時停止]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。
[一時停止]をした後、[再生]操作を行なうと、一時停止を解除します。

3. ボリュームの調節



[トラック情報バー]の  をクリックするか、スライダーを左右にドラッグします。

注意! スライダーを離れた時点で音量が変わります。ヘッドホンなどで聞いている時、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがありますのでご注意ください。



4. 再生を停止する

メニューバーから[操作] - [停止]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。


5. (再生しながら)早戻しをする

メニューバーから[操作] - [早戻し]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。
解除方法は再度  をクリックします。


6. (再生しながら)早送りする

メニューバーから[操作] - [早送り]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。
解除方法は再度  をクリックします。

7. 曲の頭出し(バックスキップ)

メニューバーから[操作] - [後スキップ]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。


8. 曲の頭出し(フォワードスキップ)

メニューバーから[操作] - [前スキップ]を選択するか、[MD操作バー]の  をクリックします。

(2) いろいろな再生モード


1. 早聞き

早聞きとは、通常の約1.6倍速で再生されます。


聞きたいトラックを選択してメニューバーから[操作] - [早聞き]をクリックするか、[拡張ツールバー]の  をクリックすることによって早聞きモードがオン/オフします。

2. イントロスキャン


イントロスキャンとは、各トラックの頭の部分を約10秒ずつ再生します。

メニューバーから[操作] - [イントロスキャン]をクリックするか、[拡張ツールバー]の  をクリックすることによってイントロ再生モードがオン/オフします。

3. リピート

リピートとは、メイン画面でリピートさせたい曲を選択してからか、リピートさせたい曲が再生しているときに、メニューバーから[操作] - [リピートモード]を選び[1曲リピート][全曲リピート][ノンリピート]のいずれかをクリックするか、[拡張ツールバー]の  を繰り返しクリックして、目的のリピートを選びます。

4. ランダム再生

ランダム再生は、メニューバーから[操作] - [ランダム再生]をクリックすると、[ランダム再生]画面が表われますので、この画面を使って操作します。ランダム再生モードを終了させるには、[タイトルバー]のをクリックします。




(3) 録音する

注意！録音する前に

録音用MDの誤消去防止つまみが開いていると、録音はできません。
つまみをもとに戻してください。

1. 録音オプションの設定

メニューバーの[操作] - [録音オプション]を選択するか、[ツールバー]のをクリックします。表示される[録音オプション]画面で、録音オプションを設定します。




マイクセンス、シンクロ録音、モード、オートマーカー機能の説明についてはMDレコーダーの取扱説明書(MDGシリーズ)をご覧ください。


デフォルト設定を選択しますと、

マイクセンス：ハイ、シンクロ録音：オフ、モード：ステレオ、オートマーカー機能：オフに設定されます。


2. 録音待機状態にする

メニューバーから[操作] - [録音待機]を選択するか、[MD操作バー]のをクリックします。

3. 録音を開始する

録音したい音声の再生にあわせて、メニューバーから[操作] - [録音]を選択するか、[MD操作バー]のをクリックします。


4. 録音を停止する

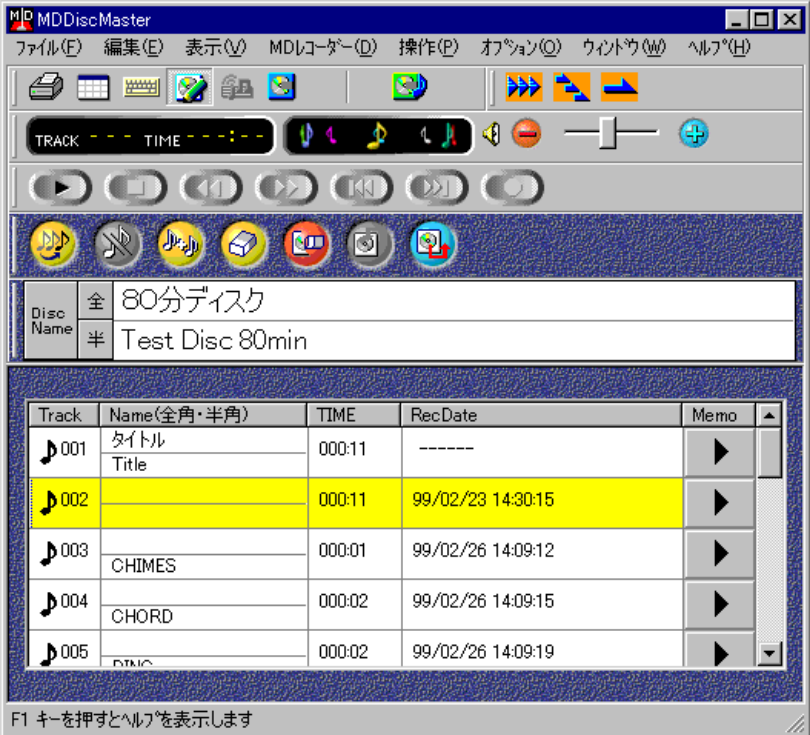
メニューバーから[操作] - [停止]を選択するか、[MD操作バー]のをクリックします。

4. 編集

(1) 編集画面

1. 編集画面を表示する

メニューバーの[編集] - [MD編集]を選択するか、[ツールバー]のをクリックして編集画面を表示します。



①メニューバー →

②ツールバー →

④トラック情報バー →

⑤MD操作バー →

⑥編集バー →

⑦ディスクネームバー →

⑧トラック詳細情報 →

⑨ステータスバー →


← ③拡張ツールバー

Track	Name(全角・半角)	TIME	RecDate	Memo
001	タイトル Title	000:11	-----	
002		000:11	99/02/23 14:30:15	
003	CHIMES	000:01	99/02/26 14:09:12	
004	CHORD	000:02	99/02/26 14:09:15	
005	DTMC	000:02	99/02/26 14:09:19	

この画面では、以下の作業が行なえます。


- ・ ディスクネーム / トラックネームの入力
- ・ トラックのメモ情報の入力
- ・ トラックの移動
- ・ トラックの分割 (ご使用機器の最大トラック数を超える分割はできません。)
- ・ トラックの結合
- ・ トラックの消去
- ・ すべてのトラックの消去
- ・ すべてのネームの消去
- ・ MDに保存
- ・ MD再読み込み

注意！ MD を編集する前に

- 1: MDの誤消去防止つまみが開いていると編集はできません。つまみをもとに戻してください。
- 2: メイン画面上では編集できません。メニューバーの[編集] - [MD編集]を選択するか、[ツールバー]のをクリックして編集画面に切り替えます。
- 3: 編集作業を行なった後、[MDに保存]を行なわないと編集結果はMDに書き込まれません。
- 4: PC接続ケーブルが外れた場合、編集画面は強制的に終了します。

(2) 編集


1. トラックの移動

メニューバーの[編集] - [トラックの移動]を選択するか、[編集バー]のをクリックして[トラックの移動]画面を表示します。






移動したいトラック番号と移動先トラック番号を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

または、移動させたいトラックを移動先のトラックへドラッグします。


編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

2. トラックの分割


トラックの再生中に、分割したい個所でメニューバーの[操作] - [一時停止]を選択するか、[MD操作バー]のをクリックし、続けてメニューバーの[編集][トラックの分割]を選択するか[編集バー]のをクリックします。[トラックの分割]画面が開き、分割したい頭の部分をくり返し再生します。スライダーバー、左右のを操作することで、分割したい箇所の微調整ができます。

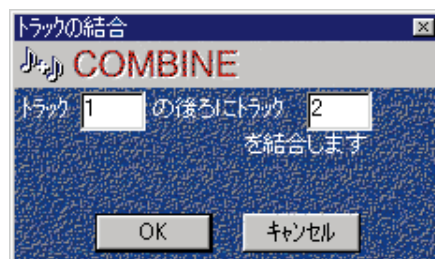


[OK]ボタンをクリックすると、トラックが分割します。


編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

3. トラックの結合

メニューバーの[編集] - [トラックの結合]を選択するか、[編集バー]のをクリックして[トラックの結合]画面を表示します。




前半に置きたいトラックの番号を左のボックスに、後半に置きたいトラック番号を右のボックスに入力して[OK]ボタンをクリックします。


または、結合させたい2つのトラックを選択してから、メニューバーの[編集] - [トラックの結合]を選択するか、[編集バー]のをクリックすると、[トラックの結合]画面が表示します。結合したいトラック番号を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

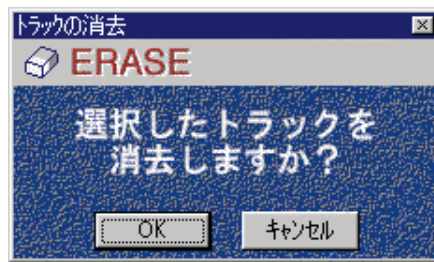
注意！


- 1: ステレオモードで録音された曲とモノラルモードで録音された曲は、結合できません。
- 2: デジタル録音した曲とアナログ録音した曲は、結合できません。

編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。


4. トラックの消去

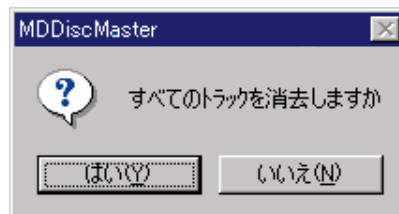
消去したいトラックを選択してから、メニューバーの[編集] - [トラックの消去]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。 確認のメッセージ画面が表示されるので[OK]か[キャンセル]ボタンをクリックします。




編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

5. すべてのトラックの消去

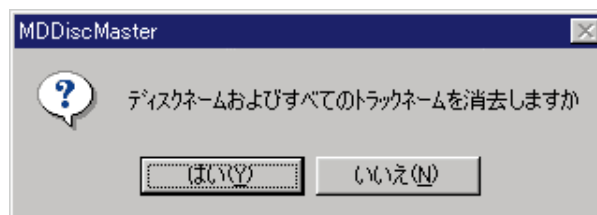
MDの内容をすべて消去します。メニューバーの[編集] - [すべてのトラックの消去]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。メッセージ画面が開きますので[はい]または[いいえ]ボタンをクリックします。




編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

6. すべてのネームの消去

ディスクネーム、トラックネームを消去します（MDに収録されている音声は消去されません）。メニューバーの[編集] - [すべてのネームの消去]を選択します。メッセージ画面が開きますので[はい]または[いいえ]ボタンをクリックします。



編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

7. ディスクネーム/トラックネームの入力

ディスクネーム/トラックネームは、上段に全角で、下段に半角で入力できるようになっています。


入力したいトラック(またはタイトル)部分をクリックします。さらに、上段か下段をクリックしてカーソルが点滅したらキーボードより文字を入力します。

Track	Name(全角・半角)	TIME	RecDate	Memo
♪001	タイトル Title	000:11	-----	▶
♪002	想いでの曲 おもいでのキョク	000:11	99/02/23 14:30:15	▶
♪003	チャイム CHIMES	000:01	99/02/26 14:09:12	▶


全角で50文字、半角は最大100文字まで入力できますが、入力できる文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

また、半角入力時にスペースを入力する際、日本語入力システムによっては単にスペースキーを押すだけではスペース入力ができない場合があります。そのようなときは、Shiftキーを押しながらスペースキーを押してみてください。

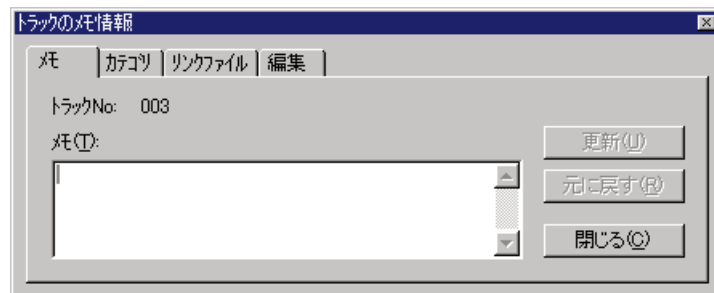
文字編集を行なったときは、最後にENTERキーを押してください。

編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

8. トラックのメモ情報の入力

各トラック右にある、をクリックすると[トラックのメモ情報]画面が開き、トラックごとに情報を入力することができます。

- ただし、入力できる条件としては
- 1.MDライブラリを保存にする
 - 2.録音用MDが誤削除防止状態になっていないこと
 - 3.編集画面の状態になっていること



以下のタブごとに情報を入力したら[更新]ボタンをクリックします。[元に戻す]ボタンをクリックすると、入力内容は取り消されます。


- ・メモ 文字情報を入力できます。(4096バイト)
- ・カテゴリ トラックのカテゴリを記録できます。(256バイト)
- ・リンクファイル 関連ファイルを指定できます。[参照]ボタンをクリックして任意のファイルを指定します。[実行]ボタンをクリックすると指定されたファイルが起動します。(256バイト)
- ・編集 編集者名を記録できます。(128バイト)

参考：


半角1文字 = 1バイト、全角1文字 = 2バイト

「メモ」では改行できます。1改行 = 2バイト

9 . MDに保存

編集結果をMDに書き込むには、メニューバーの[編集] - [MDに保存]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。編集画面に表示されている内容が、MDに書き込まれます。


10 . MD再読み込み

メニューバーの[編集] - [MD再読み込み]を選択するか、[編集バー]のをクリックします。

注意！

この作業を行なうとMDに記録されている、現状の情報を再度読み込みます。
MDに書き込む前の編集内容は全て取り消されます。

11 . メイン画面に戻る

メニューバーの[編集] - [MD編集]をクリックするか、[ツールバー]のをクリックするとメイン画面に戻ります。

その際、編集内容がMDに書き込まれていない場合、[編集結果をMDに保存しますか?]という問い合わせの画面が開きますので、[はい]または[いいえ]ボタンをクリックします。

5. ダビング

ダビングには3通りの手段があります。

- 1) CD-ROMドライブからMDレコーダー
- 2) CD-ROMドライブからハードディスク
- 3) ハードディスクからMDレコーダー

お使いのパソコンに、ある一定時間が経つと自動的に起動する機能（例：スクリーンセーバーや省電力機能など）が設定されている場合、それらの機能が起動してダビングが正常に行なわれない場合があります。

ダビングを行なう時は、このような機能はすべてオフにしてください。

Windowsの設定によっては、録音時に効果音が鳴る場合があります。録音の支障になりますので、Windowsのサウンド設定（[コントロールパネル]内の[サウンド]）内、「登録名」または「設定名」を「サウンドなし」に設定してください。

各機能の設定 / 設定解除方法は、お使いのパソコンのマニュアル、Windowsのマニュアルを参照してください。

(1) CD-ROM ドライブから MD レコーダー

注意！ 録音する前に

- ・ Windowsの[ボリュームコントロール]でCDの[ミュート]チェックボックスをオフにしてください。
- ・ MDの誤消去防止つまみが開いているディスクでは録音はできません。つまみをもとに戻してください。
- ・ メイン画面で停止モードの状態のとき、この機能が使用可能です（MD編集画面では使えません）。
- ・ MDレコーダー付属の録音用アナログケーブルでパソコン（OUTPUT）とMDレコーダー（INPUT）を接続し、MDレコーダーのMIC/LINE切り替えスイッチを“LINE”にして録音してください。録音レベルが低ければパソコン側の出力レベルを上げてください。

1. [CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面の表示

音楽CDをCD-ROMドライブに挿入します。

CDを挿入するとCDプレイヤーが起動する場合があります。そのときはCDプレイヤーを終了してください。


次に、メニューバーから[操作] - [ダビング]を選択し、サブメニューの[CD-ROMドライブからMDレコーダー]を指定します。[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面が表示され、CDトラックリストにはトラック番号と曲の再生時間が表示されます。

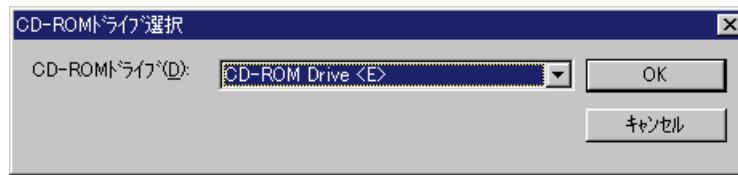


注意！

- ・ 何らかのアプリケーションがCD-ROMドライブを使用中の場合は、[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面は表示できません。
- ・ CD-ROMドライブからCDを取り出すとリストはクリアし、CDを入れるとリストを表示します。
- ・ CDプレイヤーが起動したときはCDプレイヤーを終了してもCDトラックリストにトラック番号と曲の再生時間が表示されないことがあります。このような時には[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面を一度閉じて、再度開いてください。


2. CD-ROMドライブの変更

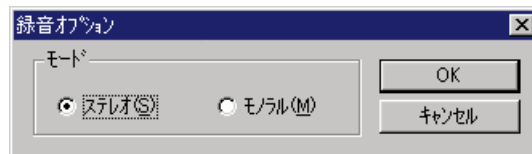
 をクリックすると、[CD-ROMドライブ選択]ダイアログを表示します。




ドロップダウンリストを表示させてCD-ROMドライブの変更が行なえます。

3. 録音オプションの設定


録音モードを変えるには  をクリックします。[録音オプション]ダイアログが表示され、ステレオ/モノラルが切り替えられます。



4. CDトラックの試聴


試聴したいCDトラックを選択して  をクリックすると、選択されたトラックが再生します。

再生を停止するには  をクリックします。

MDレコーダーからの音量は、[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面内の  をクリックするかスライダーで調整します。


5. MDトラックリストへの追加

CDトラックリストから、録音したいトラックを選択します。

 をクリックするか、MDトラックリストへドラッグすると、MDトラックリストに追加します。

- ・ MDトラックリストに録音対象のトラックを追加したとき、MDの録音残時間内かどうか自動チェックします。
- ・ MDの録音モードを切り替えたときは録音残時間内かどうか自動チェックします。
- ・ 録音中にトラック情報バーに表示されるトラック番号は、MDに記録されるトラック番号です。

6. MDトラックリストの削除

削除したいトラックを選択して  をクリックします。





CD-ROMドライブからCDを取り出したときは、MDトラックリストは全て削除します。

7. MDトラックのネーム編集

MDトラックリストに表示されたトラックのネーム部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。最大100文字の半角英数文字でネームを入力できます。


入力時にトラックネームとして入力できる文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

8. 録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、、、、 をクリックして替えます。

9. 録音

録音 をクリックすると録音が始まります。

録音中に再生されるMDレコーダーからの音量は、[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面内の
 をクリックするか、スライダーで調整できます。（録音レベルとは関係ありません。）
[停止] [キャンセル] ボタンをクリックすると録音を中止し、メイン画面に戻ります。

録音が完了すると、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻る前にMDを取り出すと、何も表示されません。

(2) CD-ROMドライブからハードディスク

= <おこわり：この機能は、サポート対象外です> =

この機能に関するお問い合わせには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

MD Disc Masterでは、CD-ROMドライブをコントロールしてデジタル信号をサウンドファイルに変換して、ハードディスクに保存します。（音楽CDをサウンドファイル WAVEファイル に変換する機能があります。）しかし、CD-ROMドライブ自体にデジタル信号をサウンド変換する機能がない場合や、CD-ROMドライブ自体にこの機能があっても、MD Disc Master から制御できないことがあります。

また、本機能が使える環境をお持ちのお客様でもこの機能を利用になる際には、CDライターやCD再生ソフトウェアなど、CD-ROMドライブにアクセスするソフトウェアとの同時使用は行なわないでください。動作に支障が起こった場合、パソコンを再起動していただくと、うまく動作する場合があります。

注意！

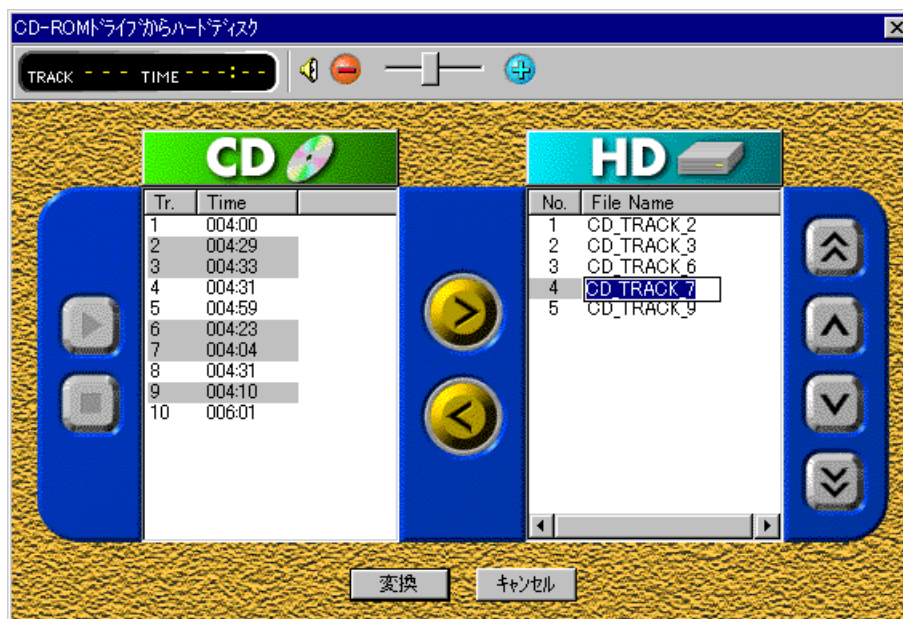
- ・メイン画面で停止モードの状態のとき、この機能が使用可能です（MD編集画面では使えません）。
- ・ご使用のCD-ROMドライブによっては、この機能が使用できないことがあります。
- ・お客様のシステムによってはノイズがサウンドファイルに入ることがあります。

1. [CD-ROMドライブからハードディスク]画面の表示

音楽CDをCD-ROMドライブに挿入します。

CDを挿入するとCDプレイヤーが起動するときがあります。そのときはCDプレイヤーを終了してください。


次に、メニューバーから[操作] - [ダビング]を選択し、サブメニューの [CD-ROMドライブからハードディスク] を指定します。[CD-ROMドライブからハードディスク]画面が表示され、CDトラックリストにはトラック番号と曲の再生時間を表示します。






注意！

- ・ 何らかのアプリケーションがCD-ROMドライブを使用中の場合は、[CD-ROMドライブからハードディスク]画面は開きません。
- ・ CD-ROMドライブからCDを取り出すと、リストはクリアされます。CDを入れるとリストを表示します。
- ・ CDトラックをサウンドファイルにデジタル変換して保存します。


2 . CD-ROMドライブの変更

 をクリックすると、[CD-ROMドライブの選択]画面を表示します。
ドロップダウンリストを表示させてCD-ROMドライブを変更することができます。


3 . CDトラックの試聴

試聴したいCDトラックリストのトラックを選択して  をクリックすると、選択されたトラックを再生します。
再生を停止するには  をクリックします。
MDレコーダーの音量は、[CD-ROMドライブからハードディスク]画面内の  をクリックするか、スライダーで調整できます。

4 . HDトラックリストへの追加

CDトラックリストから、録音したいトラックを選択します。  をクリックするか、HDトラックリストヘッダラッグすると、HDトラックリストにトラックを追加します。





5 . HDトラックリストの削除

削除したいトラックを選択して  をクリックします。


6 . ファイル名の編集

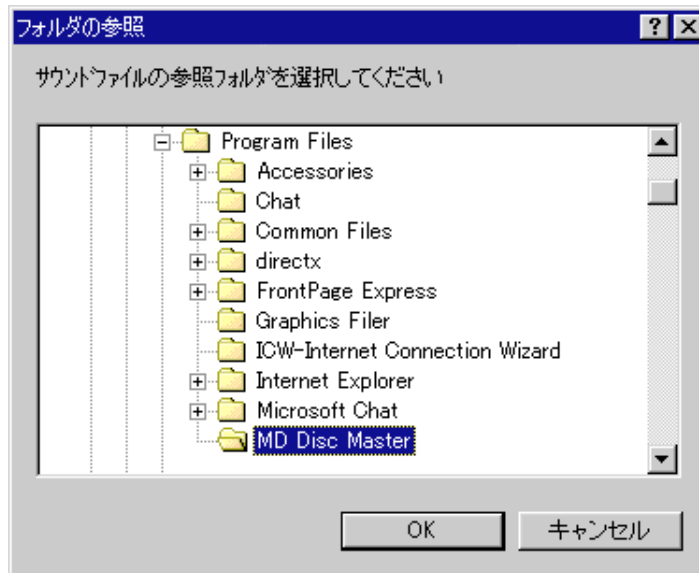
HDトラックリストに表示されたトラックのファイル名部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。

7 . 録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、 、、、 をクリックします。

8 . ファイルの保存先

CDトラックをサウンドファイルにデジタル変換して保存します。
保存先のフォルダのデフォルトは、本アプリケーションが存在するフォルダです。
また、HDトラックリスト上部にある  をクリックすると、[フォルダの参照]ダイアログが表示されるので、ここで保存先フォルダを指定することもできます。

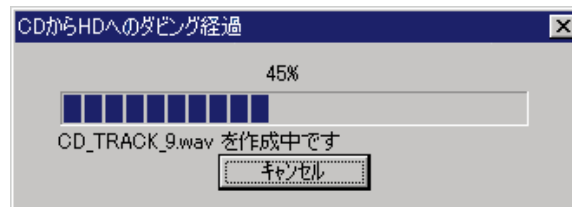


保存先としてハードディスク以外のメディアも選択できますが、アクセススピードが速く、空き容量の大きいメディアを保存先に指定してください。

参考： 5分の曲をサウンドファイルに変換すると、約52MBのファイルが作成されます。
音楽CD全体をサウンドファイルに変換すると最大約810MBのファイルが作成されます。

9. 変換

変換 をクリックすると変換（サウンドファイルの作成）が開始され、変換経過を表示する画面を表示します。（音声は再生されません）



この画面で[キャンセル]ボタンをクリックすると変換作業はキャンセルされ、メイン画面に戻ります。保存先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は [上書きしますか] と問い合わせメッセージが表示されます。[いいえ] を選択すると変換をキャンセルします。また、サウンドファイル作成時にエラーが発生した場合は、変換作業はキャンセルされます。

変換が完了するとメイン画面に戻ります。

(3) ハードディスクから MD レコーダー

注意！録音する前に

- Windowsの[ボリュームコントロール]でWAVEの[ミュート]チェックボックスをオフにしてください。
- MDの誤消去防止つまみが開いていると録音はできません。つまみをもとに戻してください。
- メイン画面で停止モード状態のとき、この機能が使用可能です（MD編集画面では使えません）。
- MDレコーダー付属の録音用アナログケーブルでパソコン（OUTPUT）とMDレコーダー（INPUT）を接続し、MDレコーダーのMIC/LINE切り替えスイッチを“LINE”にして録音してください。録音レベルが低ければパソコン側の出力レベルを上げてください。
- MP3、MIDIに関しては、Microsoft社製メディアプレーヤーVer6.0以上がインストールされている必要があります。

1. [ハードディスクからMDレコーダー]画面の表示

メニューバーから[操作] - [ダビング]を選択し、サブメニューから[ハードディスクからMDレコーダー]を指定します。[ハードディスクからMDレコーダー]画面を表示します。

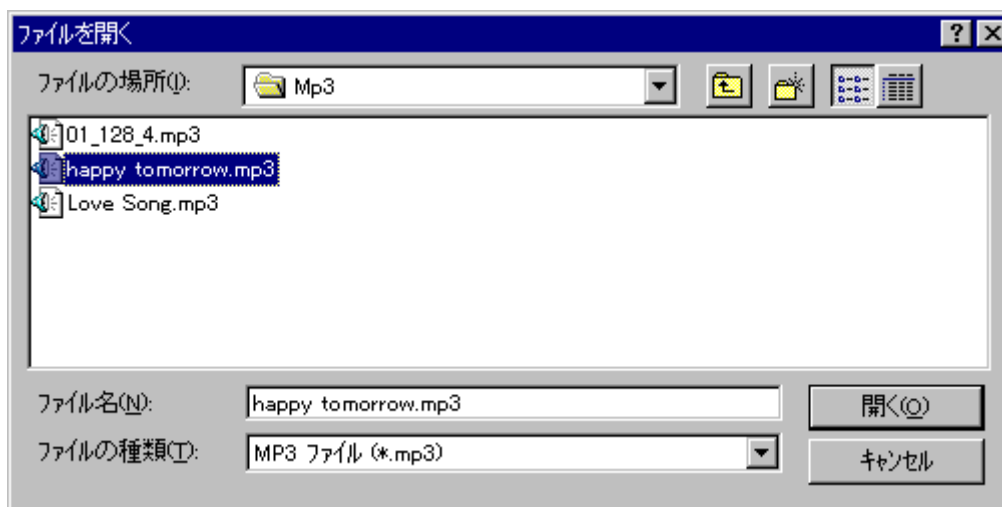


このときHDファイルリストには本アプリケーションが存在するフォルダか、最後にこの操作を行なったときに使用したフォルダが表示されます。

2. フォルダの変更


HD をクリックすると、[ファイルを開く]ダイアログが表示され、録音元のフォルダとファイルの種類、ファイル名の指定をします。

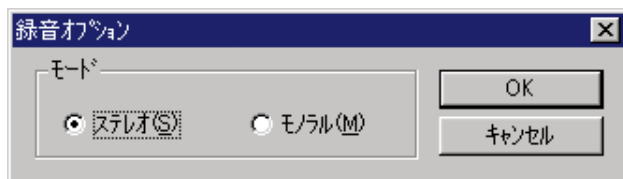
ファイルの種類は、*.wav, *.mp3, *.mid, *.rmi から選択できます。(パソコンの設定によっては、選択できないファイル形式もあります。)





HDファイルリストにはトラック情報 (No.、ファイル名、時間) が表示されます。


3. 録音モードの設定

録音モードを変えるには  をクリックします。[録音オプション]ダイアログが表示され、ステレオ/モノラルを切り替えられます。




4. ファイルの試聴

HDファイルリストのファイルを選択して  をクリックすると、選択されたファイルが再生されます。再生を停止するには  をクリックします。

MDレコーダーの音量は、[ハードディスクからMDレコーダー]画面内の  をクリックするか、スライダーで調整します。

5. MDトラックリストへの追加


HDファイルリストから、録音したいファイルを選択します。

 をクリックするか、MDトラックリストへドラッグすると、MDトラックリストに追加します。

表示されるトラック名は既に登録しているファイル名ですが、MDレコーダーで使用できない文字等はスキップして表示します。

- ・ MDトラックリストに録音対象のファイルを追加したとき、MDの録音残時間内かどうか自動チェックします。
- ・ MDの録音モードを切り替えたときは録音残時間内かどうか自動チェックします。
- ・ 録音中にトラック情報バーに表示されるトラック番号は、MDに記録されるトラック番号です。

6. MDトラックリストからの削除





ファイルを削除したいMDトラックリストのトラックを選択して  をクリックします。

7. MDトラックリスト名前編集

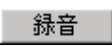
MDトラックリストに表示されたトラックの名前部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。最大100文字の半角英数文字でタイトルを入力できます。


入力時にトラック名前として入力できる文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

8. 録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、、、、 をクリックして替えます。

9. 録音

 をクリックすると録音が始まります。

録音中に再生されるMDレコーダーのボリュームは、[ハードディスクからMDレコーダー]画面内の  をクリックするか、スライダーで調整します。（録音レベルとは関係ありません。）

[停止][キャンセル]ボタンをクリックしたときは録音を中止し、メイン画面に戻ります。

注意! 録音中に他の作業をされると、音飛びの原因になる可能性があります。録音中は、他の作業をなるべく行わないことをお勧めします。


録音が完了すると、メイン画面に戻ります。

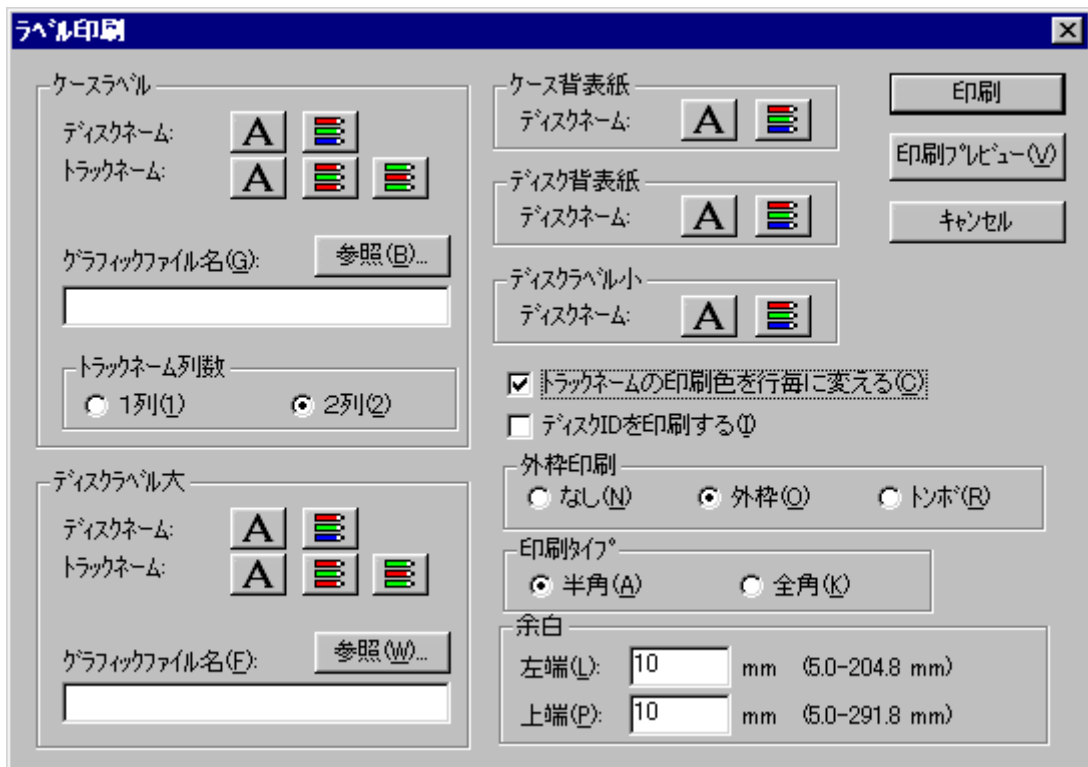
メイン画面に戻る前にMDを取り出すと、何も表示されません。

6. ラベル印刷



(1) 印刷内容の設定



1. 印刷ウィンドウを開く

メニューバーの[ファイル] - [ラベル印刷]を選択するか、[ツールバー]のをクリックして、[ラベル印刷]画面を開きます。



2. ケースラベル、ディスクラベル大の設定

[ディスクネーム ][トラックネーム 


[ディスクネーム ][トラックネーム 


[トラックネームの印刷色を行毎に変える]をチェックすれば、奇数行と偶数行で独立して色設定が行えます。

[参照]ボタンをクリックすると、ケースラベルの背景に印刷するグラフィックを指定できます。背景には、サンプル以外にも通常のグラフィックファイル (*.BMP、*.JPG、*.TIF) も利用できます。サイズは、自動的に調節されます。

[トラックネーム列数]では、トラックネームを印刷する列数を設定します。(ケースラベルのみ)

3. ケース背表紙、ディスク背表紙、ディスクラベル小の設定

それぞれのラベルの[ディスクネーム 

[ディスクネーム 

4. ディスクIDの設定

[ディスクIDを印刷する]をチェックすれば、各ラベルに印字されるディスクネームの左に、ディスクIDが印字されます。

5. ラベルの外枠印刷設定

ラベルの外枠は、[なし][外枠][トンボ]のいずれかをチェックしてください。

6. 余白の設定

ラベルの余白設定は[余白]で行ないます。

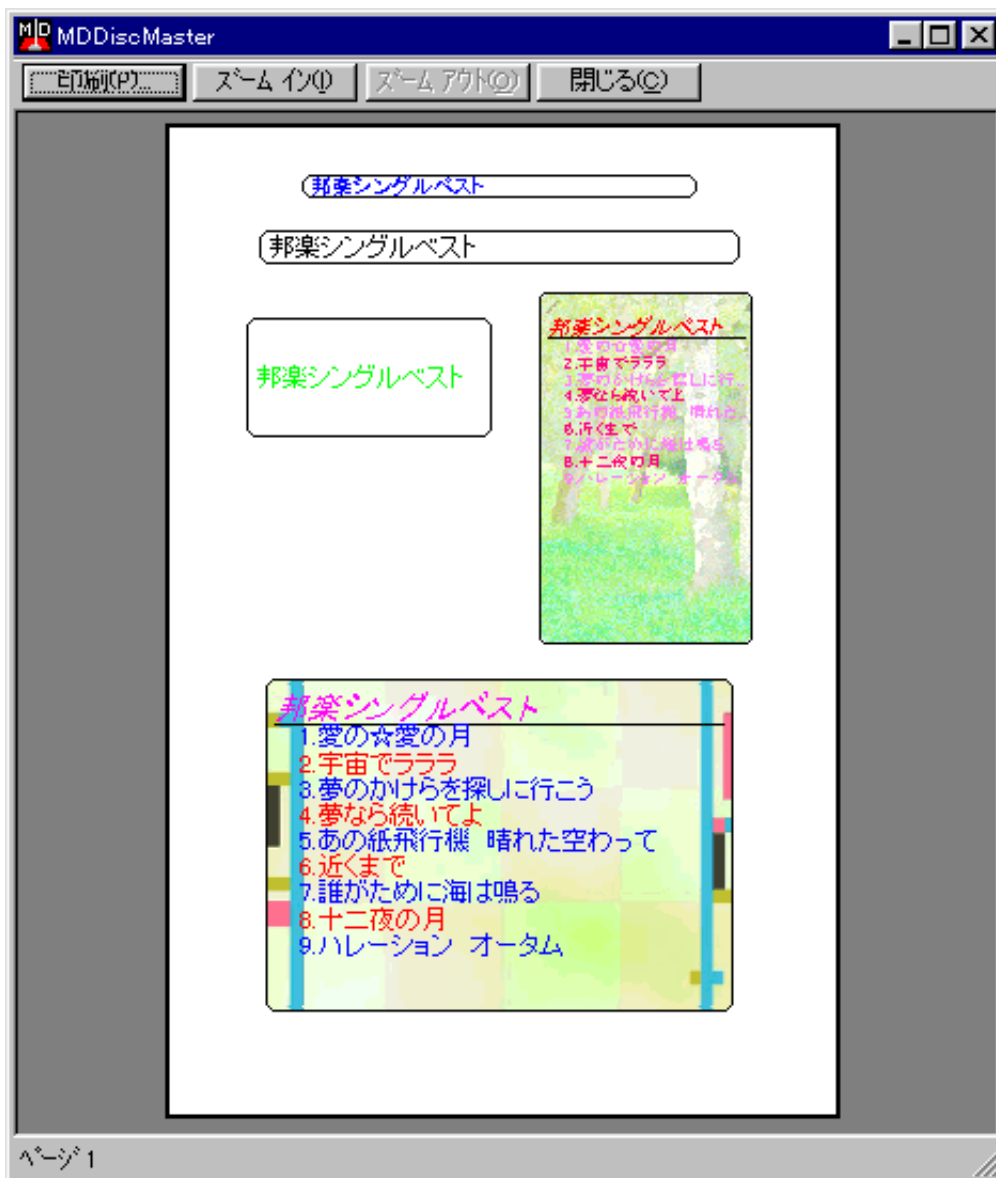
印刷するラベル用紙が下記の場合は、[左端12.0mm・上端7.5mm・外枠なし]に設定してください。

ヒサゴ社製 MDラベル CJ1880S, CJ2880S, CJ3880S, CJ4880S

注意！ プリンターやプリンタドライバによって、印字位置が多少ずれることがあります。試し印刷を何回が行ない、適切な数値をメモに残しておくことをおすすめします。

(2) 印刷イメージの確認

1. 印刷イメージを確認するには、[印刷プレビュー]ボタンをクリックします。



ディスク背表紙

ケース背表紙


左：ディスクラベル小

右：ディスクラベル大

ケースラベル

2. 表示倍率を変えるには、[ズームイン]ボタン、[ズームアウト]ボタンをクリックします。

3. [ラベル印刷]画面に戻るには、[閉じる]ボタンをクリックします。

4. 印刷を行わないときは、[タイトルバー]の  ボタンをクリックします。

(3) ラベルを印刷する

1. [ラベル印刷]画面内の[印刷]ボタンをクリックして[印刷]画面を表示します。



2. 使用プリンタ、印刷範囲、印刷部数を設定して[OK]ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

注意!

- ・ プリンタの機種によってはプレビューと印刷結果が異なることがあります。
- ・ ディスクラベル印刷において、半角文字は自動改行されません。改行したいときは文字間にスペースを入れてください。
- ・ 印刷位置がずれる場合は、余白設定にて調整してください。

7. MD レコーダー

(1) 通信ポートの設定

メニューバーの[MDレコーダー] - [通信ポートの設定]を選択して、[通信ポートの選択]ダイアログボックスを表示します。

・未接続時


パソコンの利用可能な通信ポートが表示されます。PC接続ケーブルが接続したシリアルコネクタの通信ポートを選択して[OK]ボタンをクリックします。

・接続時

PC接続ケーブルが接続されているシリアルコネクタの通信ポートを確認できます。[キャンセル]ボタンをクリックしてこの画面を閉じます。

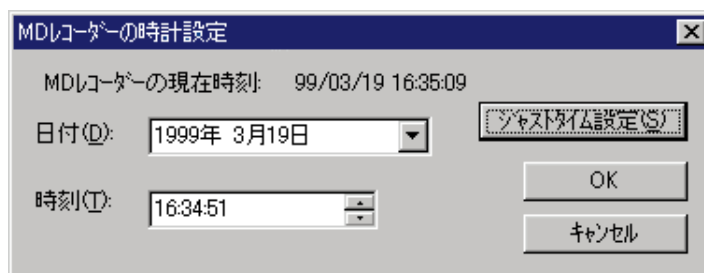
(2) MD レコーダーの設定


1. MDレコーダーに接続


メニューバーの[MDレコーダー] - [MDレコーダーに接続]を選択するか、ツールバーに表示されている  をクリックすると、MD Disc MasterがMDレコーダーをコントロール開始します。

2. MDレコーダーの時計設定

メニューバーの[MDレコーダー] - [MDレコーダーの時計設定]を選択してください。[MDレコーダーの時計設定]ダイアログボックスが開きます。



[日付]は、各数値を選択して直接数字を入力するか、  をクリックしてカレンダーを表示して、現在日付を選択します。

[時刻]は、「時刻：分：秒」が表示されています。各数値を選択して直接数字を入力するか、右端にある  をクリックして数字を合わせます。

[OK]ボタンをクリックして[MDレコーダーの時計設定]ダイアログボックスを閉じ、MDレコーダーの時計を設定します。

[ジャストタイム設定]は、パソコン内蔵の時計と同じ日時にする場合に使用します。[ジャストタイム設定]ボタンをクリックすると、MDレコーダーの時計がパソコン内蔵の時計と同じ日付 / 時刻に設定されます。

3. MDレコーダーのメッセージ設定

メニューバーの[MDレコーダー] - [MDレコーダーのメッセージ設定]を選択します。
[MDレコーダーのメッセージ設定]画面が開きます。



この機能はMDレコーダーのユーザーオリジナルメッセージを設定する機能です。

[オンメッセージ]と[オフメッセージ]がテキスト入力可能状態になります。

最大16文字まで入力でき、設定ボタンを押すとMDレコーダーに登録されます。

[デフォルト設定]ボタンを押すとMDレコーダーの初期設定状態 (HELLO!と SEE YOU!) になります。文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

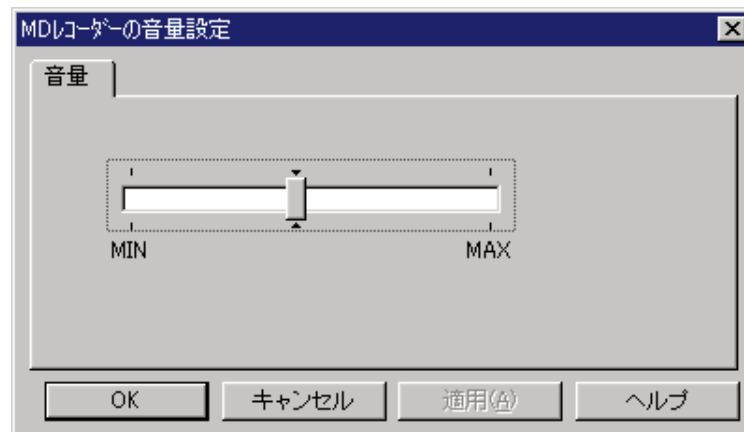
[オンメッセージ] : MDレコーダーの電源をオンにしたときに表示部に表示されるメッセージ

[オフメッセージ] : MDレコーダーの電源をオフにしたときに表示部に表示されるメッセージ

4. MDレコーダーの音量設定

メニューバーの[MDレコーダー] - [MDレコーダーの音量設定]を選択してください。

[MDレコーダーの音量設定]画面が開きます。



[音量]パネルでMDレコーダーの音量を設定できます。

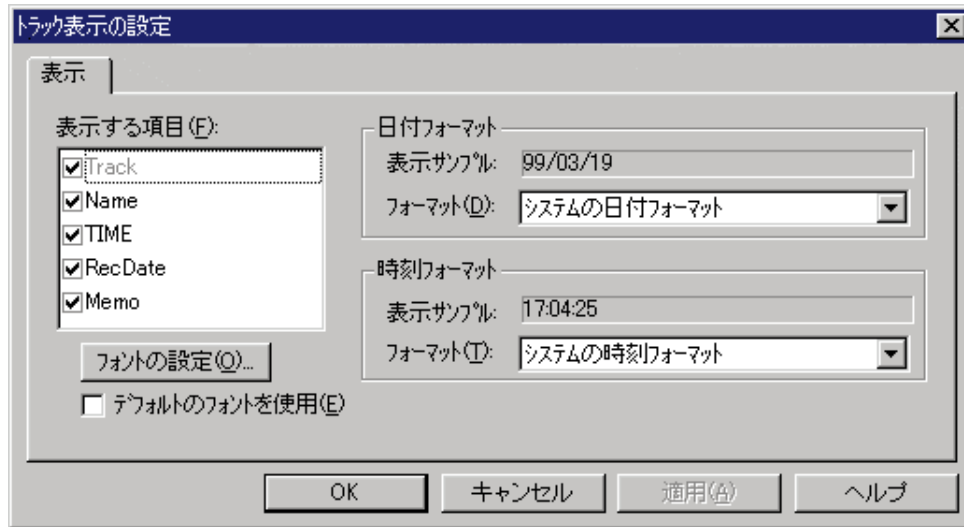
キーボードの矢印キーの操作またはスライダーのマウスによる移動で音量変更が行なえます。

[OK]キーを押して音量設定が完了します。

8. オプション

(1) トラック表示の設定

メイン画面、編集画面で表示するトラック情報を選択したり、表示スタイルを設定できます。
メニューバーの[オプション] - [トラック表示の設定]を選択して下さい。[トラック表示の設定]画面が開きます。



1. 表示する項目の設定

[表示する項目]で、各項目の左にあるチェックボックスをチェック / アンチェックすると、メイン画面、編集画面で表示されるトラック情報の表示 / 非表示が切り替わります。

2. フォントの設定

[フォントの設定]ボタンをクリックすると[フォント]画面が表示され、メイン画面で編集画面のトラック詳細情報を表示するフォントのスタイル等を設定できます。[デフォルトのフォントを使用]の左のチェックボックスをチェックすると、初期設定に戻ります。

3. 日付フォーマットの設定

[日付フォーマット]では、年 / 月 / 日の表示スタイルを設定できます。[フォーマット]ダイアログボックスの右端にある、 をクリックしてプルダウンメニューを開いて表示形式を選択します。

4. 時刻フォーマットの設定

[時刻フォーマット]では、時間 / 分 / 秒の表示スタイルを設定できます。[フォーマット]ダイアログボックスの右端にある、 をクリックしてプルダウンメニューを開いて表示形式を選択します。
すべての設定を終えたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

(2) ホットキーの設定

MD Disc Masterをミニ操作バーで表示しているときは、他のアプリケーションで作業中でも、MDレコーダーを操作できるキーの組み合わせをホットキーといいます。

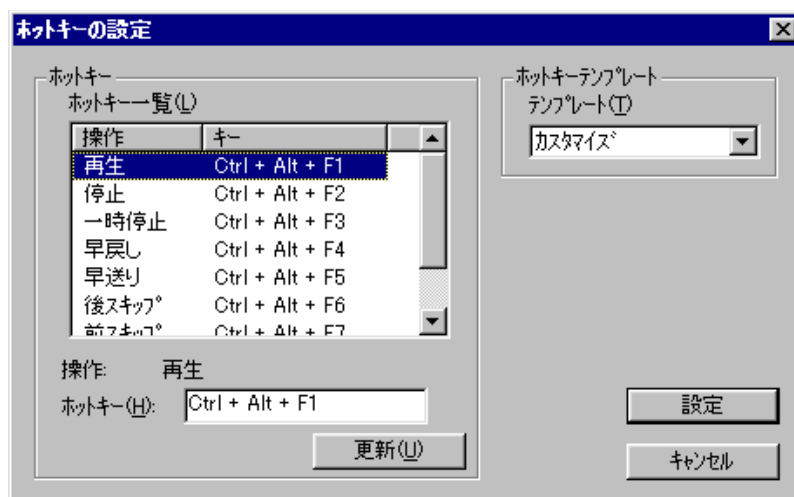
ホットキーを設定できる操作と初期設定の組み合わせは以下の通りです。

再生	(Ctrl + Alt + F1)
停止	(Ctrl + Alt + F2)
一時停止	(Ctrl + Alt + F3)
早戻し	(Ctrl + Alt + F4)
早送り	(Ctrl + Alt + F5)
後スキップ	(Ctrl + Alt + F6)
前スキップ	(Ctrl + Alt + F7)
ポイント再生	(Ctrl + Alt + F8)

MD Disc Masterでは、ホットキーを新しく設定することができます。

1. キーの組み合わせを新しく設定する

1) メニューバーの[オプション] - [ホットキーの設定]を選択しますと[ホットキーの設定]画面が表示されます。



2) ホットキー一覧の中から、操作名を選択します。

3) [ホットキー]ボックスをクリックしてカーソルを点滅状態にします。

4) 設定したいキーを、キーボードで押します。[ホットキー]ボックスにそのキー（またはキーの組み合わせ）が表示されたら[更新]ボタンをクリックします。

注意！

- すでに他の操作で設定されているキー（またはキーの組み合わせ）は使えません。
- 他のアプリケーションで使用されているショートカットキーやホットキーと重複しないように設定してください。

5) すべての操作の設定が終了し、その内容で問題なければ、[設定]ボタンをクリックします。
設定内容を取り消したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

6) 設定したホットキー設定を初期設定状態に戻したい場合は、ホットキー設定画面を開いて[ホットキーテンプレート]のプルダウンメニューを開いてください。 [Windows一般]を選択して[設定]ボタンをクリックすると初期設定に戻ります。


9. MD ライブラリ

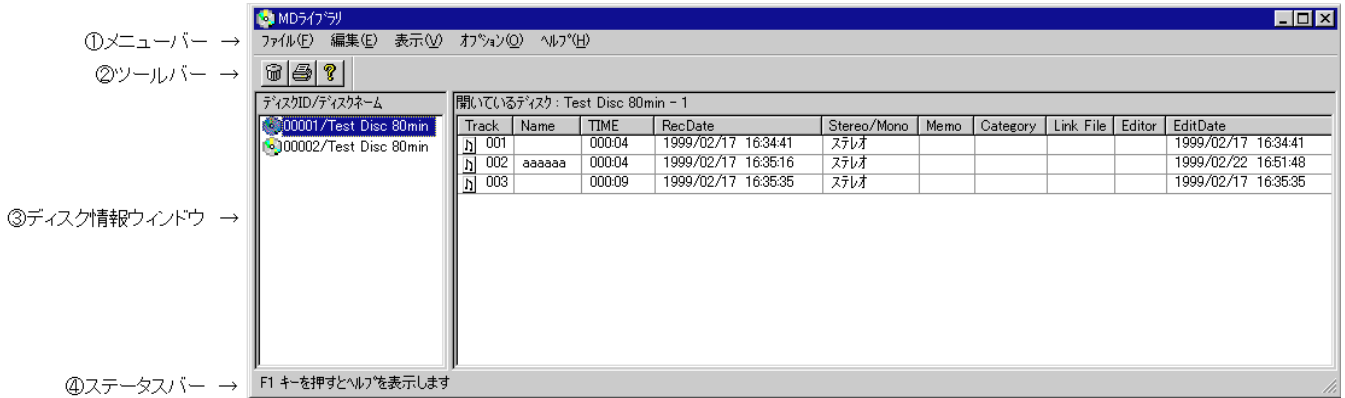
(1) MD ライブラリ

MD Disc Masterでは、ディスクの情報をデータベースファイルとして保存する機能があります。

MDプレーヤーに接続するとき、また、ディスクを交換したときに、MD Disc Masterは「MDライブラリに保存しますか?」というメッセージ画面を表示します。

このとき[はい]ボタンをクリックするとMDライブラリにディスク情報が保存されます。

メニューバーの[ウィンドウ] - [MDライブラリウィンドウ]を選択するか、ツールバーのをクリックすると、MDライブラリ画面が表示されます。



(2) MD ライブラリ画面の表示内容

1. メニューバーの[表示]から操作する

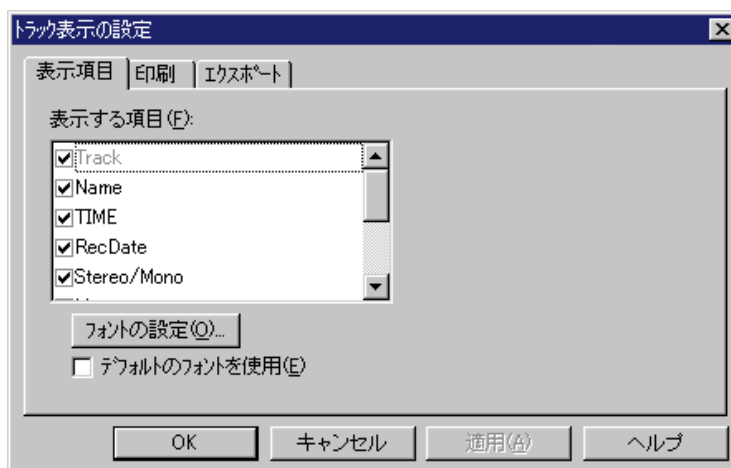
メニューバーの[表示]を選択すると、プルダウンメニューを表示します。

[ツールバー]、[ステータスバー]はクリックするたびに表示 / 非表示が切り替わります。

[ネーム表示タイプ]をクリックするとサブメニューが表示され、ネーム表示タイプの半角 / 全角の切り替えができます。

2. メニューバーの[オプション]から操作する

メニューバーの[オプション] - [トラック表示の設定]を選択すると、[トラック表示の設定]画面が表示されるので、[表示項目]タブをクリックします。



[表示する項目]にリストされている項目の左にあるチェックボックスをチェック / アンチェックすると、項目の表示 / 非表示が切り替わります。

[フォントの設定]ボタンをクリックすると[フォント]画面が表示され、MDライブラリ画面で表示されるフォントを設定できます。[デフォルトのフォントを使用]の左にあるチェックボックスをチェックすると、初期設定に戻ります。

(3) 印刷する

MDライブラリ画面から行なえる印刷は、MDライブラリ情報の印刷と、ラベル印刷の2通りがあります。

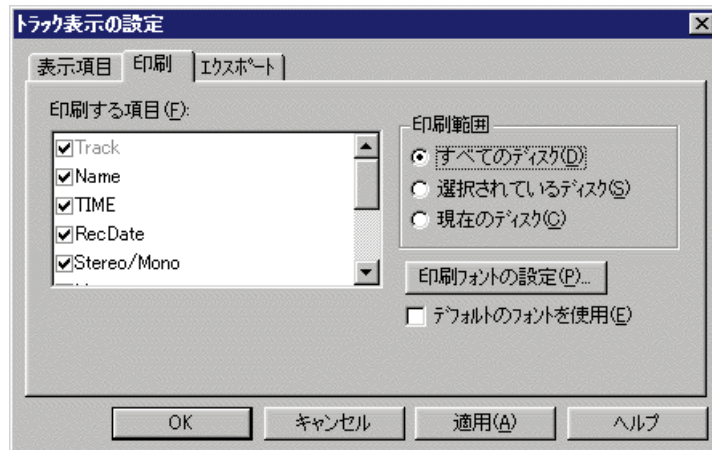
1) MDライブラリ情報の印刷

1. [トラック表示の設定]画面の表示

メニューバーの[オプション] - [トラック表示の設定]を選択して[トラック表示の設定]画面を表示させます。

2. 印刷内容の設定

[印刷]タブをクリックします。



[印刷する項目]にリストされている項目の左にあるチェックボックス内の印刷したい項目をチェック/アンチェックします。

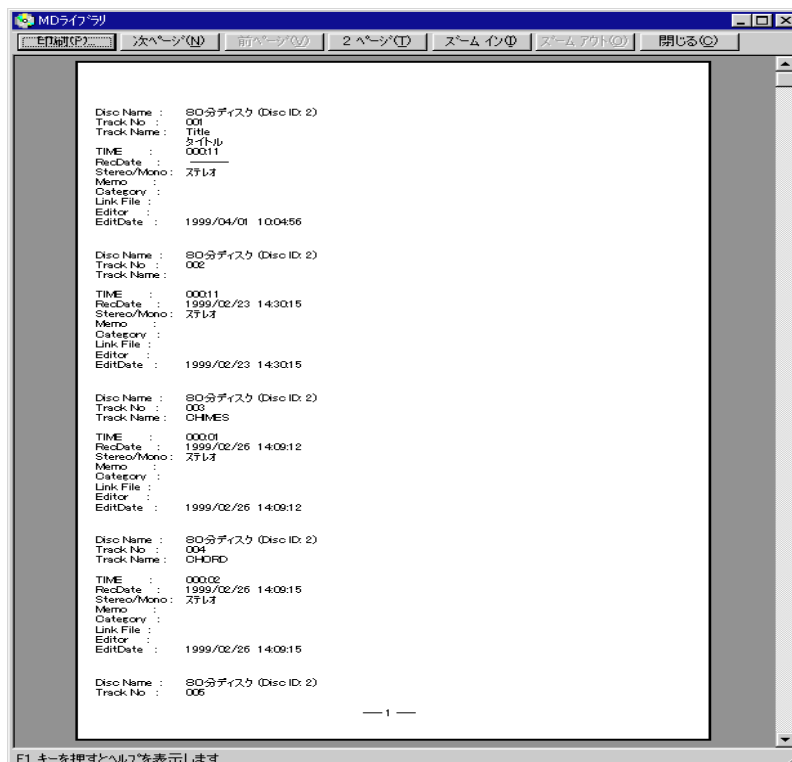
印刷範囲を選択してください。

[印刷フォントの設定]ボタンをクリックすると[フォント]画面が表示され、印刷フォントの指定を行なえます。初期設定に戻したい場合は、[デフォルトのフォントを使用]のチェックボックスをチェック/アンチェックしてください。

すべての設定が終わったら[OK]ボタンをクリックして[トラック表示の設定]画面を閉じます。

3. 印刷イメージの確認

メニューバーの[ファイル] - [印刷プレビュー]を選択すると印刷プレビュー画面が表示されます。



表示倍率を変えるには[ズームイン][ズームアウト]ボタンをクリックします。

印刷内容が複数ページにわたる場合は、[次ページ][前ページ]ボタンをクリックすると表示ページが変わります。[2ページ]ボタンをクリックすると、2ページ分表示されます。元に戻すには[1ページ]ボタンをクリックします。[印刷]ボタンをクリックすると、[印刷]画面が表示されるので、プリンタ等の設定を行なって印刷できます。

[閉じる]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が閉じてMDライブラリ画面に戻ります。

4 . 印刷する

メニューバーの[ファイル] - [印刷]を選択すると[印刷]画面が表示されるので、プリンタ等の設定を行なって印刷できます。



2) ラベル印刷

1 . [ラベル印刷]画面の表示

ラベル印刷したいディスクID / ディスクネームをダブルクリックして選択します。メニューバーの[ファイル] - [ラベル印刷]をクリックします。[ラベル印刷]画面を表示します。

以降の操作は21ページの“6. ラベル印刷”の項目を参照してください。

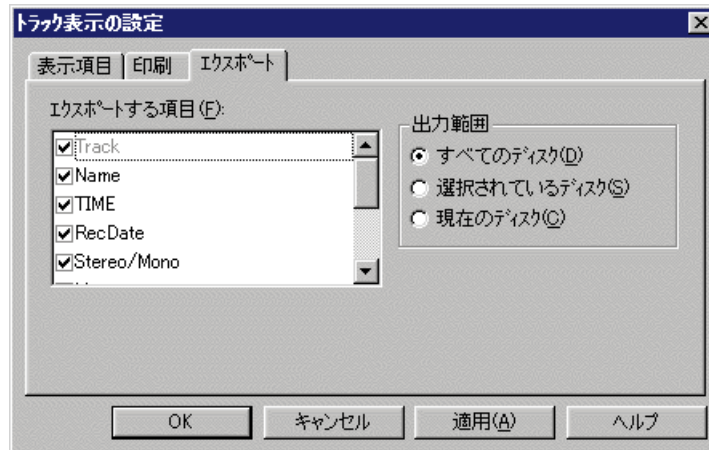
(4) データのエクスポート

MDライブラリの内容をCSV形式のファイル (*.csv) に保存できます。

このファイルは、MS-Excelなどのスプレッドシートソフトやデータベースソフトなどで編集加工ができます。

1. [トラック表示の設定]画面を表示する

メニューの[オプション] - [トラック表示の設定]をクリックして[トラック表示の設定]画面を開き、[エクスポート]タブをクリックします。



2. エクスポートする項目を設定する

[エクスポートする項目]にリストされている項目の左にあるチェックボックスをチェック / アンチェックします。

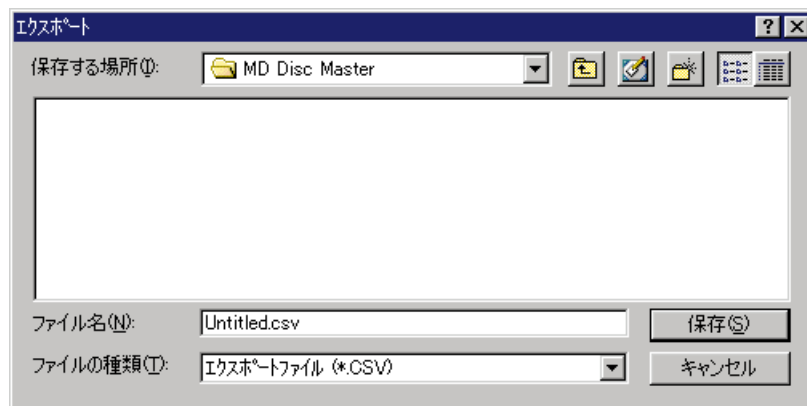
エクスポートしたい項目をクリックしてください。

出力範囲はオプションボタンを一つ選択します。

すべての設定が終わったら[OK]ボタンをクリックして[トラック表示の設定]画面を閉じます。

3. エクスポートする

メニューバーの[ファイル] - [エクスポート]を選択して [エクスポート]画面を表示します。




保存する場所、ファイル名を指定して[保存]ボタンをクリックします。CSV形式のファイル (*.csv) に保存されます。

このファイルは、MS-Excelなどのスプレッドシートソフトやデータベースソフトなどで編集加工ができます。

(5) データの削除

削除したいディスクID / ディスクネームを選択します。

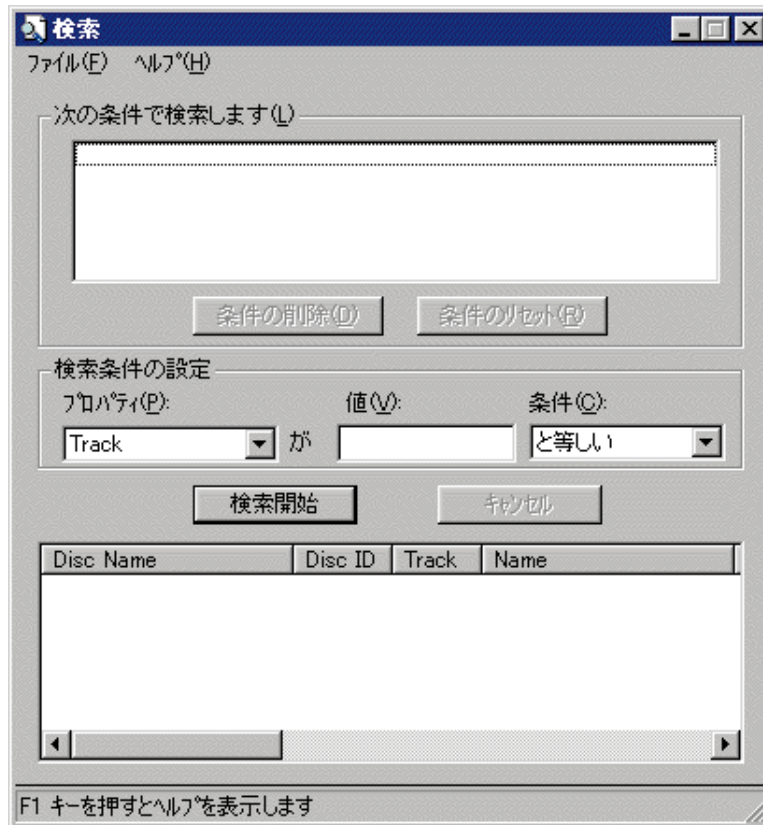
次に、メニューバーの[編集] - [削除]を選択するか、ツールバーのをクリックします。

[ディスク情報の削除]画面が表示されるので[すべて削除][削除][キャンセル]ボタンのいずれかをクリックします。

(6) 検索と検索結果の印刷

メニューバーの[編集] - [検索]を選択すると[検索]画面を表示します。

この画面から、条件を設定してトラックを検索し、検索結果を印刷することができます。



1) トラックを検索する

1 . 条件を設定する

「検索条件の設定」の欄で条件を指定します。

[プロパティ]と[条件]はプルダウンメニューから選択し、[値]にはキーボードから検索したい値を入力します。

([プロパティ]で[ステレオ/モノラル]を指定した場合、[値]の項目には何も入力できません)

2 . トラックを検索する

[検索開始]ボタンをクリックすると、「次の条件で検索します」の欄に設定された条件にあてはまるトラックを表示します。

3 . 絞り込み検索する

この状態で1 . 2 . の操作を行なって、さらに条件を付加して絞り込み検索をすることもできます。

4. 条件を1つ削除する

「次の条件で検索します」の欄に表示されている条件を選択して[条件の削除]ボタンをクリックすると、選択されている条件を削除するか問い合わせるメッセージ画面が表示されるので、[はい]か[いいえ]ボタンをクリックします。

残された条件にあてはまるトラックを検索するには、[検索開始]ボタンをクリックします。

5. 条件をすべて削除する

[条件のリセット]ボタンをクリックすると、検索条件をすべて削除するかを問い合わせるメッセージ画面が表示されるので、[はい]か[いいえ]ボタンをクリックします。

それまでに設定した条件がクリアされますので、また新たに条件を設定して検索を行なえます。

2) 検索結果を印刷する

メニューバーの[ファイル] - [印刷]をクリックすると、[検索結果印刷]画面を表示します。

印刷範囲をオプションボタンで選択し、[OK]をクリックすると[印刷]画面が表示されるので、プリンタ等の設定を行なって印刷できます。

なお、印刷される項目は、[トラック表示の設定]画面の[印刷]タブ内の[印刷する項目]でチェックマークが入っているものです。

この製品は日本国著作権法および国際条約により保護されています。

この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。